

アダムのブルース／天才トランペッターの愛と挫折（1966）

A MAN CALLED ADAM

メディア 映画

ジャンル

製作国 アメリカ

時間 107分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

デイヴィス・J rが破滅的なジャズ・トランペッターを熱演する（ペットの吹替えはN・アダレイ）未公開作品で、ちょっと図式的な展開が気になるが、ゲストも多彩で音楽的には大変充実している。主人公アダムは10年前に自分の不注意で起こした事故で妻子を亡くし、バンドのピアノ奏者レスを失明させてしまった。それを悔いながら酒に溺れつつ音楽生活を続けていたが、敵を作るばかりで次第に演奏の場を失っていた。その晩も客の反応に怒って公演先から酔ってNYへトンボ返り。ツアー中部屋を貸す話をすっかり忘れ、自室にいた老人をどやしつける。彼こそ尊敬するコルネット奏者“スウィート・ダディ（サッチモ）”だった。オマケにその孫娘クローディアを強引に口説こうとする醜態を演じ、恥じ入った彼は翌朝、いつまでも滞在してくれと彼らに詫げるのだった。やがて、アダムは市民権運動家であるクローディアを真剣に愛し、変わり始めるが、暗い過去を払拭できずたびたび荒れた。相手はレスだったり、仕事を回してくれるプロモーター、マーニー（ローフォード）だったり。その怒りには狂的なものがあった。が、クローディアや彼がペットを教える白人青年ヴィンス（シナトラ・J r）の援助で、遂に宿怨の出生地、南部ツアーを成功に納めることができた。しかし、ヴィンスに襲いかかる差別主義者の暴徒を前に為す術もなく立ち尽くし、クローディアにも見捨てられる。雲隠れのアダムは労務者までするが、仲間の演奏に招かれ、そこで一世一代のプレイをし、舞台の上で倒れ、そのまま帰らぬ人となった。M・トーマスが“オール・ザット・ジャズ”を唄う場面が秀逸。監督のL・ペンは「ベン・ケーシー」や「ドクター・キルデア」などのTVシリーズの演出家で、俳優のショーンとクリスの父親だ。

【クレジット】

監督	レオ・ペン	Leo Penn
出演	サミー・デイヴィス・J r	Sammy Davis Jr.
	オシー・デイヴィス	Ossie Davis
	シシリー・タイソン	Cicely Tyson
	ルイ・アームストロング	Louis Armstrong
	フランク・シナトラ・Jr	Frank Sinatra Jr.
	ピーター・ローフォード	Peter Lawford
	メル・トーマ	Mel Torme
	ジェラルド・オローリン	Gerald O'Loughlin